

会 議 録

■会 議 名	第 1 回 倉敷市社会福祉審議会障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定専門分科会
■日 時	令和 8 年 7 月 16 日（木） 15:30～17:00
■場 所	倉敷市役所本庁舎 5 階 第 502 会議室
■出 席 者	専門分科会委員 有安委員、石井委員、岡委員、生水委員、田口委員、塚岡委員、友國委員、仲井委員、中原委員、藤原委員、文谷委員、安田委員、山田委員 事務局 小野保健福祉局長、八方社会福祉部長、山田障がい福祉課長、石井事業所指導室長、小野障がい福祉課長補佐、吉川主幹、福海主任 鶴見、加納（（株）エブリプラン）
■欠 席 者	常光委員
■傍 聴 者	あり（1 名）
■進 行	1. 開会 2. 保健福祉局長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 自己紹介 5. 専門分科会長の選任 6. 副専門分科会長の指名 7. 諮問 8. 議事 （1）専門分科会及び計画の概要について （2）現行計画進捗状況について （3）アンケート調査について （4）その他 9. 閉会
■内 容	5. 専門分科会長の選任 田口委員が仲井委員を推薦。仲井委員が専門分科会長に決定した。 6. 副専門分科会長の指名 仲井会長が生水委員を指名。生水委員が副専門分科会長に決定した。 7. 諮問 小野保健福祉局長から仲井会長へ諮問書を手交した。 8. 議事 （1）専門分科会及び計画の概要について ○事務局説明

	○質疑 塚岡委員 8月の障がい者団体ヒアリングについて、団体への案内はいつごろか。 事務局 近日中には発送する予定である。 (2) 現行計画進捗状況について ○事務局説明 ○質疑 藤原委員 日中一時支援事業について、成人を見てくれる事業所が少ない。児童のニーズが多く、夕方まで預かってもらっているが、18歳になり大人のサービスに移行するとどうなるのか。親が働けなくなる問題が生じるのではないか。また、就労選択支援について、高校卒業後の進路選択での利用はどうなるのか。 事務局 日中一時支援は全国的な課題となっている。市として大人の利用を制限しているわけではなく、ニーズの高まりとともに広げてくれる事業所があれば、大人の日中一時支援の受入れも可能である。就労選択支援については、スタートしたばかりの制度で倉敷市内は5事業所となっている。現在はB型利用希望者、令和9年4月からはA型利用希望者も対象となるが、本人が希望すれば就労選択支援も利用可能である。 (3) アンケート調査について ○事務局説明 ○質疑 田口委員 前回の回収率はどのくらいか。アンケートについて、8月10日発送で8月25日締切となっているが、少し期間が短いのではないか。 事務局 前回の回答率は52.7%であった。前回のスケジュール感と同様に、今回も8月10日発送としている。返信用封筒の有効期限は9月30日までとしており、締切が過ぎても回答は、報告書作成に間に合う限り受け付ける予定である。回答締切の少し前に督促兼お礼状を送付する予定であり、回収期間は前回計画と変えていなかったが、締切日は再検討する。 田口委員 督促兼お礼状を出すのはよいと思う。余裕をもって対応してほしい。 塚岡委員 自分が回答する立場になったら迷う設問も多い。「問11について、それぞれ一つだけ丸をつけてください」とあると、必ずどれかを選ばなければならないと思い記入に迷うため、「当てはまる項目に丸をつけてください」等の方がよいのではないか。 事務局 問11については、回答者がご自身の受給者証と見比べやすいよう、受給者証の記載順に沿ってサービスを並べている。記入時の迷いを減らすため、受給者証の該当ページ数を記載して照らし合わせやすくするなどの対応も考えられる。基本的には利用していなければ「利用していない・利用する予定はない」選択肢を選んでいただく想定である。 塚岡委員 本人は利用したいが状況的に利用できない人が「現在利用していない」という2番や4番の選択肢を選ぶのは、自身の気持ちと合わず迷ってし
--	--

	まうのではないか。 事務局 「それぞれ一つだけ」という文言を削除するなどの表示方法を検討する。 また、何も丸がついていない場合は「利用していない」ものとして集計する。 (4) その他 ○事務局説明 次回以降の日程について
--	--

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名します。

倉敷市社会福祉審議会障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定分科会

専門分科会長

仲井達哉